

武蔵野市
中高生世代広場
(平成29年度第2クール)

－実施報告書－

武蔵野市



1. 事業の全体像

(1) 実施目的

- 中高生世代広場は、市の将来を担う中高生の意見を積極的に市政運営に反映するとともに、参加する中高生が課題を通して市の新たな魅力に気が付き、より市への関心を高めてもらうことを目的にした若者世代向けのワークショップです。大学生がサポート役として中高生に関わることで、多世代交流の場ともなっています。
- 平成29年度の第2クール（平成29年10月～平成30年2月）では、次期「子どもプラン武蔵野」策定に向けた検討の一環として、子どもプラン武蔵野の事業の対象者である中高生の視点で、子ども・子育て支援に関する市の施策に提言を行うことを目的に実施しました。

＜最終回に参加した中高生と大学生＞



(2) プログラム概要

- 「子育てしやすいまちづくり」をテーマに、市内在住・在学の中高生（計15人）と、サポート役として参加する大学生（計10人）が、子育てにかかわる体験活動を通して課題意識を深め、市長に向けて政策提言を行いました。

第1回(10/15)

「オリエンテーション「子育てしやすいまちづくり」って？」

「子育て」のイメージって？課題だと思うことはなんだろう

第2回(11/26)

「子育ての当事者に話を聞いてみよう」

子育て中のパパ・ママゲストにインタビューしてみよう

(インプット)

第3回(12/27)

「子育て家庭の疑似体験をしてみよう」

ベビーカーを押して街中を歩いたり、抱っこひも体験をしたり。色々な発見をしよう

第4回(1/21・27)

「子育て支援施設訪問・課題の深掘り」

0123施設を訪問し、利用者にインタビューをしてみよう。政策提言に向け、意見をまとめよう

第4回(2/18)

「政策提言をしよう」

課題解決策として、市への提言をまとめ、発表しよう

体験（インプット）

まとめ

回	日時	内容
【第1回】	10月15日(日) 10:00～12:00	■ アイスブレイクとして子育てに関するクイズを実施。子育てについて現時点でもっているイメージ、課題だと思うことを話し合いました。
【第2回】	11月26日(日) 13:00～15:00	■ 子育て中のパパ・ママゲストにインタビューを実施。一日の過ごし方について、タイムスケジュールを紹介してもらいました。
【第3回】	12月27日(水) 9:30～12:30	■ 吉祥寺のまちをベビーカーを押して歩く体験をしました。 ■ 保健師の指導のもと、妊婦ジャケットの着用体験・赤ちゃん人形の抱っこ体験をしました。
【第4回】	1月21日(日) 9:30～12:30 1月27日(土) 9:30～12:30	■ 子育て支援施設(1月21日：0123はらっぱ、1月27日：0123吉祥寺)を視察し、体験したことや感じたことを互いに発表しました。第5回の政策提言に向け、意見をまとめ、準備しました。
【第5回】	2月18日(日) 13:00～17:00	■ これまでの体験から学び取ったことをまとめて、「子育てしやすいまちづくり」について市長に政策提言を行いました。

2. 第1回 オリエンテーション「子育てしやすいまちづくり」って？

(1) 概要

- ①日時：平成29年10月15日（日） 午前10時から12時
- ②会場：武蔵野市役所 413会議室
- ③参加人数：中学生7名 高校生1名 大学生3名
- ④実施の目的：第2クールのテーマ「子育てしやすいまちづくり」について学び、理解を深めることにより、自分なりの疑問や課題を考えていくための糸口とする。

(2) 当日の様子

① アイスブレイク

- 参加者のアイスブレイクを目的に大学生サポーターから子育てに関するクイズを出題。みんなで楽しく参加し、和やかな雰囲気でのスタートとなりました。

＜グループワークの様子＞



② 市の子育て支援施策について

- 第2クールの概要（テーマ「子育てしやすいまちづくり」やスケジュール）について、市より説明を行いました。
- 市が実施している子育て支援施策について説明を行いました。

③ グループワーク

- 中高生が現時点で持っている「子育て」のイメージ、課題だということについて意見を出し合いました。
- 「ママ」「パパ」「おじいちゃんおばあちゃん」「地域の人」「保育士・幼稚園教諭」など、意見をグルーピングするための小テーマを大学生が事前に作成し、それに沿って中高生が意見のグルーピングを行いました。



④ 第2回「パパ・ママインタビュー」に向けた準備

- 次回実行委員会で行うパパ・ママゲストへのインタビューの準備として、質問項目を検討しました。決定したものは以下の通りです。

＜参加した中高生・大学生＞

- ①子育てのやりがいとつらいことは何ですか。
- ②相談できる人はいますか。（ママ友、地域、親戚など）
- ③何が分からなくて悩みましたか。
- ④赤ちゃんの危険対策はどうしていますか。（遊び場、家具など）
- ⑤1日どのくらいの睡眠時間がとれていますか。
- ⑥育児でお金がかかるものは何ですか。
- ⑦子育てに関する情報を何から得ていましたか。
- ⑧ストレス発散方法は何ですか。
- ⑨子どもができたことで、地域との関わり方は変わりましたか。
- ⑩社会に何を配慮してほしいと思いますか。
- ⑪子育て中の方のために、中高生にできることは何ですか。



3. 第2回 テーマ：子育ての当事者に話を聞いてみよう

(1) 概要

①日時：平成29年11月26日（日） 午後1時から午後3時

②会場：武蔵野市役所 412会議室

③参加人数：中学生12名 高校生1名 大学生4名 パパ・ママゲスト職員(パパ2名、ママ2名)

④実施の目的：子育て中のパパ・ママにインタビューをすることで、子育て世代の生の声を聞き取る。第2クールのテーマ「子育てしやすいまちづくり」についてより理解を深める。

(2) 当日の様子

① パパ・ママの一日紹介

- 子育て中のパパ・ママゲスト(市職員)が、育休中と現在(平日)の一日の過ごし方を円グラフ状のタイムスケジュール表を使って説明しました。

<パパ・ママゲストの一日紹介>



② グループトーク

- グループに2名ずつパパ・ママゲストが入り、第1回実行委員会で決めた質問も織り交ぜながら、フリートークを行いました。実際に子育て世代の生の声を聞くことで、中高生は新しく気づくこともあったようです。「思っていたよりも子育ては大変で、職場の理解、父、母同士の協力がとても重要だと思った」との感想もありました。

<グループトーク>



③ グループワーク

- パパ・ママゲストの話を聞いたうえで、次の点について意見を出し合いました。

- ①「中高生に何ができるか」
- ②「子育て家庭が社会に求めていること」
- ③「自分たちが大人になったらしたいこと」

出た意見は模造紙にまとめ、発表を行いました。

<参加した中高生・大学生とパパママゲスト>



<発表の様子>



グループワークで使用した模造紙は次頁へ

5. 第3回 テーマ：子育て家庭を疑似体験してみよう。

(1) 概要

- ①日時：平成29年12月27日（水）午前9時30分から午後12時30分
- ②会場：武蔵野公会堂 第2会議室
- ③参加人数：中学生6名 高校生2名 大学生3名 ゲスト職員 保健師1名
- ④実施の目的：ベビーカーを押したり妊婦ジャケットを着用したり、子育て家庭を疑似体験することで、妊婦や子育て家庭の大変さを体感し、「子育てしやすいまちづくり」に必要なことを検討する材料とする。

(2) 当日の様子

① ベビーカー体験

- ベビーカー貸出しサービス事業「ベビ吉」の貸出場所を見学しました。
- 赤ちゃんの重さに近くなるように水を入れたペットボトルを乗せたベビーカーを押しながら、吉祥寺のまちを歩きました。取り回しが難しく、苦戦する中高生もいました。

<ベビーカー体験>



② 妊婦ジャケット・赤ちゃん人形体験

- 保健師の指導のもと、妊婦ジャケットの着用体験を行いました。座った状態で靴ひもを結んだり、階段の昇り降りをしたりと日常の動作にも難しく、妊婦さんの大変さを体感しました。
- 赤ちゃん人形(沐浴人形)を使い、安全なだっこの仕方、おむつ交換の仕方について学びました。

<赤ちゃん人形とのふれあい>



③ グループワーク

- ①②の体験を通して感じた、
 - ①「吉祥寺のまちの子育てにいいところ・悪いところ」
 - ②「妊婦ジャケット・赤ちゃん人形体験の感想」について、意見を出し合いました。出た意見は模造紙にまとめました。

<参加した中高生・大学生>



<妊婦ジャケット体験>



グループワークで使用した模造紙は次頁へ



4. 第4回 テーマ：子育て支援施設訪問・課題の深堀り

(1) 概要

①日時：平成30年1月21日（日） 午前9時30分から午後12時30分(0123はらっぱ)

平成30年1月27日（土） 午前9時30分から午後12時30分(0123吉祥寺)

②会場：0123はらっぱ・市役所801会議室／0123吉祥寺・武蔵野商工会館

③参加人数 1月21日：中学生4名 高校生2名 大学生3名

1月27日：中学生3名 大学生1名

④実施の目的：子育て支援施設を訪問し、利用者にインタビューを行う。子育て支援施設に求められる役割を検討する。第五回の政策提言に向け、意見をまとめる。

(2) 当日の様子

<0123はらっぱ>

- 園長より施設の説明と子どもとふれあう際の注意点についてレクチャーを受けた後、10組ほどの父子がふれあいを行うイベントを見学しました。その後は2人1組になって、プレイホールを利用している親子へのインタビューに挑戦。実際に赤ちゃんを抱っこさせてもらう中高生もいました。
- 館内見学とふれあい体験の後はグループワークに取り組みました。体験で感じた「良い点」「課題」について意見を出し合いました。
- 最後は次回実行委員会に向け、これまでの体験で学んだことを整理し、政策提言するテーマ、テーマを決定するに至った経緯、その提言が実現して得られる効果について検討を行いました。



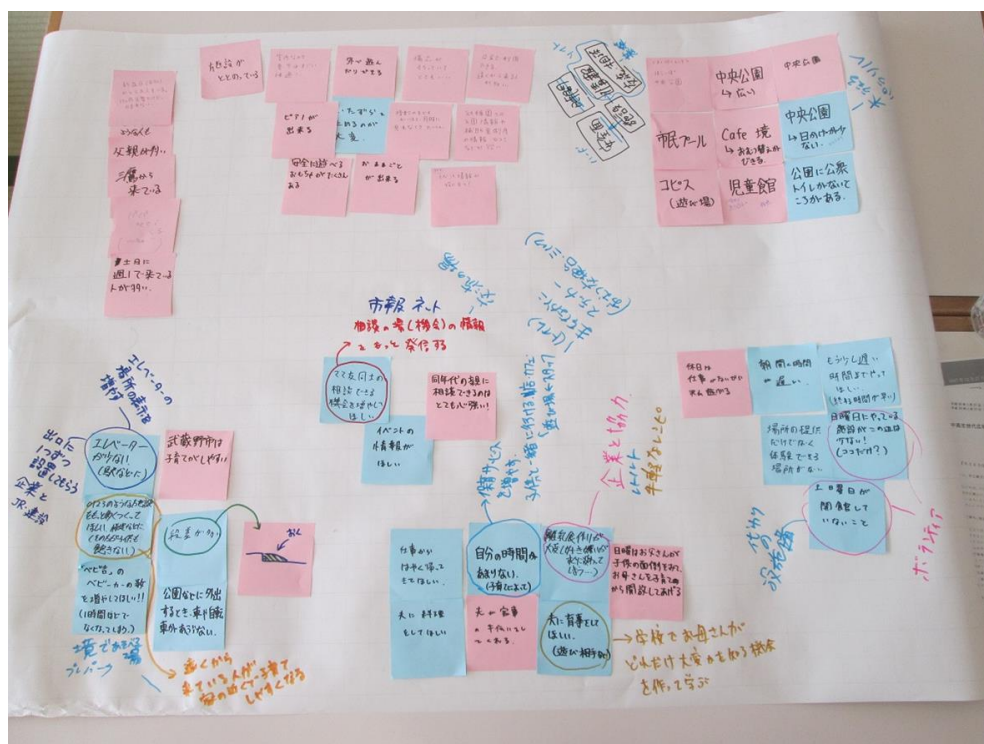
<0123吉祥寺>

- 園長より施設の説明と子どもとふれあう際の注意点についてレクチャーを受けた後、利用者の誕生日を祝うイベントを見学しました。その後は、それぞれ分かれてプレイホールを利用している親子へのインタビューに挑戦。最初はひとりで初対面の人に声を掛けるのに遠慮している様子でしたが、時間が経つにつれ積極的にインタビューをする姿が見られました。
- 館内見学とふれあい体験の後はグループワークに取り組みました。体験で感じた「良い点」「課題」について意見を出し合いました。
- 最後は次回実行委員会での政策提言に向け、これまでの体験で学んだことを整理し、提言するテーマ、それを考えるに至った経緯、その提言をして得られる効果について検討を行いました。

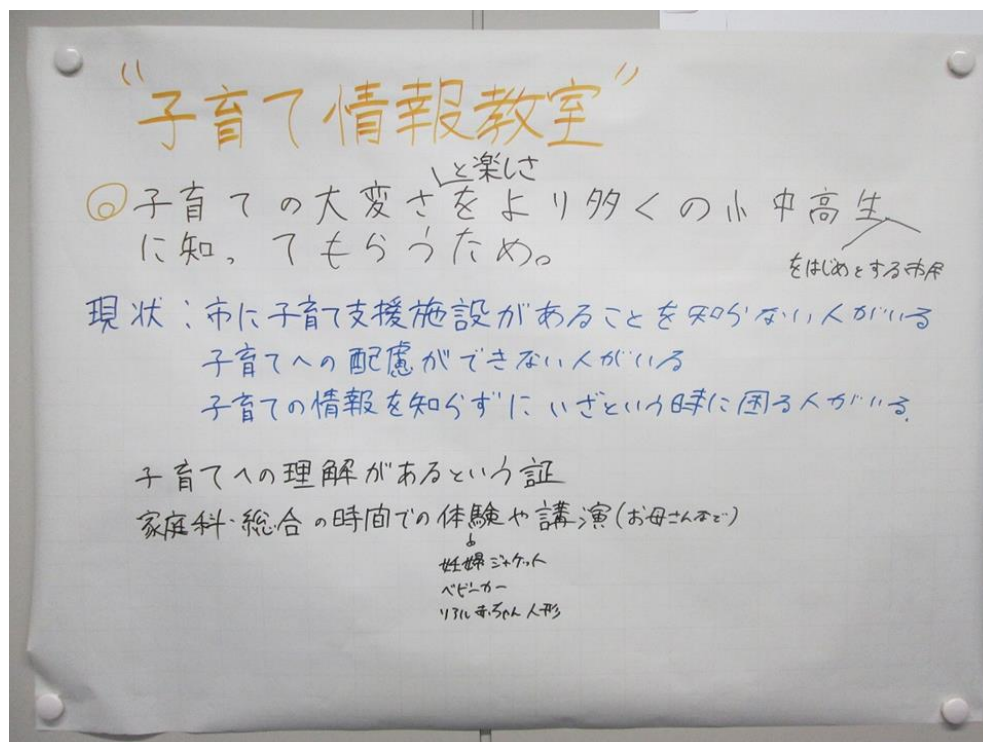


グループワークで使用した模造紙は次頁へ

<1月21日：0123はらっぱ>



<1月27日：0123吉祥寺>



6. 第5回 テーマ：政策提言をしよう！

(1) 概要

①日時：平成30年2月18日（日） 午後1時から午後5時

②会場：武蔵野プレイス フォーラム

③参加人数：中学生8名 高校生4名 大学生4名

④実施の目的：第1回～第4回実行委員会の体験をふまえ、「子育てしやすいまちづくり」の実現に向け、意見をまとめて、市長に政策提言を行う。中高生世代広場事業に参加した一年間の総括を行う。

(2) 当日の様子

① グループワーク①

- 第1回から第4回に体験した内容を振り返りました。前回の第4回実行委員会時に決まったテーマについては、当日の参加者からテーマ設定の経緯を説明しました。
- 政策案を出し合い、発表する政策案を決定しました。
- 発表する政策案について、
「テーマ設定の経緯」
「具体的な内容」
「政策の効果」
の3つの視点から、政策を具体化していきました。
- 政策について意見が固まった後は、発表用の模造紙を作成しました。第4回実行委員会までの意見出しと意見の共有のための模造紙からステップアップし、発表のための見やすさと、より分かりやすい記述を意識した模造紙が完成しました。

＜振り返りの様子＞



＜発表の準備中＞



② グループワーク②

- 中高生世代広場に参加しての感想を共有しました。

③ 発表

- 市長や職員に向け、作成した模造紙を使って政策提言を行いました。発表テーマは以下の通りです。

＜チーム離乳食＞

「子育ての大変さと楽しさをより多くの小中高生をはじめとする市民に知ってもらう」

＜チームみそたま＞

「武蔵境に子供施設を増やす！！」(ハード面からの意見)
「情報拡散の方法」(ソフト面からの意見)

- 市長からの講評と、中高生から市長への質問の時間を設けました。市長と意見交換をする、貴重な機会となりました。自分たちが提言したことが今後の市政につながるかもしれません。

＜参加した中高生・大学生～市長とともに＞



＜チーム離乳食＞

子育てのことを
もっとみんなに
知ってもらおう！

＜テーマ＞

子育ての大変さと楽しさをより多くの
小中高生をはじめとする市民に知ってもらおう。

＜現状と理由＞

①子育て世代に対する配慮が足りない

↓
・ベビーカーの横を自転車で通る
・並列通行・走行
・周りの冷たい目

②子育て施設や仕組みを知らない人もいる

③子育てに対する実感が湧きにくい
(子育てに「触れない」)

＜効果＞

①学校での体験学習

→子育ての大変さと楽しさを実感

↓
将来をイメージできる
現在の子育て世代への配慮
の気持ちの芽生え

②市の施設・支援体制の説明

→いざ自分が子育て世代になった
ときのために構え

情報が無いことによる不安からの脱却

③標語・ポスター

→情報の拡散・意識の向上

＜その他＞

・境地区に0/23を

・子育て用品のフリマ交換

・インターネットからの相談窓口

メンバー

兵藤 夏葵 坂本 亮
西島 快 川島 佑斗

**武蔵野市 中高生世代広場
(平成29年度第2クール)**

**武蔵野市 子ども家庭部 子ども政策課
児童青少年課**

**東京都武蔵野市緑町2-2-28
TEL 0422-60-1851 (子ども政策課)**